

平成30年度 長崎歯科衛生士専門学校自己評価（歯科衛生士学科）

長崎歯科衛生士専門学校教職員による無記名アンケート方式

※アンケートは各質問項目に対して以下の4段階で評価したものを集計し、その平均値を評価基準として採用した。

- 4：十分に達成している
 3：おおむね達成している
 2：どちらかという達成されていない
 1：ほとんど達成されていない

学校教育基本方針（教育理念）	課題と今後の改善方策（年度末）	学校関係者評価
医療人として幅広い教養と倫理観を持ち、口腔保健に関する高度な専門知識と技術を有し、国民の歯科保健増進に寄与することができる人間性豊かな「人に優しい歯科衛生士」の育成を目指す	学生にも教育理念をしっかりと伝えたい。	知識と技術の双方をもち、人に優しい歯科衛生士の育成は大変重要です
1. 学校教育目標		
1. 幅広い知識と豊かな人間性を有する歯科衛生士を育成する 2. 高い倫理観を持つ歯科衛生士を育成する 3. 高度化する歯科医療と社会環境の変化に対応し得る歯科衛生士を育成する 4. 資質向上のため生涯学び続ける意欲を持つ歯科衛生士を育成する 5. 多職種と連携し健康増進に貢献できる歯科衛生士を育成する 6. EBMに基づいた科学的な判断のできる歯科衛生士を育成する	学校教育目標の共有を図り目標に近づくよう努力したい。	何事も目標を掲げ、それに向かって努力するということは達成に近づけると考えます。
2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画		
1. 歯科衛生士国家試験合格率100%および就職率100%を達成するとともに優秀な人材確保に努める 2. カリキュラムを充実させ、即戦力となる人材を育成する 3. 健康管理や時間厳守といった自己管理ができる人材を育成する 4. コミュニケーション能力の高い人材を育成する 5. 問題を見出し解決する能力を持つ人材を育成する	歯科衛生士国家試験合格率100%を達成したい。定員確保できるように努めたい。	コミュニケーション能力の獲得は、今後より大切になるはず。国家試験の結果は100%を継続されており素晴らしいと思います。今後更新されることを願っています。

3. 評価項目の達成及び取組状況

大項目	評価項目	評価		課題と今後の改善方策 (年度末)	学校関係者 評価
		前期	年度末		
(1)教育理念 目標	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.6	4.0	達成した。 今後も教育理念 に沿った人材育 成を目指した い。	学校における職業 教育は基礎力の徹 底と考えます。シ ラバスからは基礎 に力点が置かれて いることがうかが えます。
	・学校における職業教育の特色は何か	3.7	3.6		
	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の 将来構想を抱いているか	3.1	3.6		
	・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想 などが学生や保護者等に周知されているか	3.1	3.4		
	・教育目標、育成人材像は学科に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	3.3	3.7		
(2)学校運営	・目的に沿った運営方針が策定されているか	3.4	4.0	達成した。 今後も教育理念 に沿った学校運 営を行いたい。	時代に適した運 営、事業計画の作 成をお願いします。
	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.4	4.0		
	・運営組織や意思決定機能は、規則等において 明確化されているか、有効に機能しているか	3.2	3.6		
	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.3	4.0		
	・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは 整備されているか	3.3	3.8		
	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス 体制が整備されているか	3.3	3.5		
	・教育活動等に関する情報公開が適切になされて いるか	3.4	4.0		
	・情報システム化等による業務の効率化が図られ ているか	3.3	3.9		
(3)教育活動	・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施 方針等が策定されているか	3.6	4.0	達成した。 引き続き人材像 や業界のニーズ に合うようなカ リキュラム編成 や時間数を検討 したい。	シラバスから、広 範囲の分野にお ける適切な教育 がなされている とかがえます。現 在の歯科医療の キーワードとな る高齢者歯科医 療、および災害 時歯科医療はカ リキュラム中に 取り入れられて いるか。
	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた 学科の修業年限に対応した教育到達レベルや 学習時間の確保は明確化にされているか	3.3	4.0		
	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されて いるか	3.5	4.0		
	・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に 立ったカリキュラムや教育方法の工夫、 開発などが実施されているか	3.3	3.8		
	・授業評価の実施、評価体制はあるか	3.2	3.9		
	・職業教育に対する外部関係者からの評価を 取り入れているか	3.4	4.0		
	・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は 明確になっているか	3.5	4.0		
	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラム 中での体系的な位置づけはあるか	3.4	4.0		
	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことが できる要件を備えた教員を確保しているか	3.5	3.9		
	・関連業界等との連携において優れた教員を 確保する等マネジメントが行われているか	3.1	3.4		
	・関連分野における先端的な知識、技能等を 修得するための研修や教員の指導力育成など 資質向上のための取組みが行われているか	3.6	4.0		
	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.5	4.0		
	(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか	3.9		
・資格取得率の向上が図られているか		4.0	4.0		
・退学率の低減が図られているか		3.0	3.3		
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を 把握しているか		3.1	3.3		
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の 教育活動の改善に活用されているか		3.0	3.3		

大項目	評価項目	評価		課題と今後の改善方策 (年度末)	学校関係者 評価
		前期	年度末		
(5) 学生支援	・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	3.8	3.9	達成した。 可能な範囲での 学生支援は実施 されている。 ニーズにあわせ た支援制度の検 討を行いたい。	進路、就職に関する事や学生相談について比較的高い評価になっていることは評価できる。しかし、その他の項目は努力が必要と思われる。特に高校・専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取組についての課題を見つけ、改善されることを期待します。
	・学生相談に関する体制は整備されているか	3.5	4.0		
	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.2	3.7		
	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.3	3.7		
	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1	3.3		
	・学生の生活環境への支援は行われているか	3.0	3.4		
	・保護者と適切に連携しているか	3.4	3.8		
	・卒業生への支援体制はあるか	3.2	3.5		
	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.3	3.9		
	・高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか	2.8	3.2		
(6) 教育環境	・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.8	4.0	達成した。 最新の設備を十分に活用している。	施設は充実していると思います。
	・学内外の実習施設について十分な教育体制の整備をしているか	3.5	4.0		
	・防災に対する体制は整備されているか	3.2	3.5		
(7) 学生の 受入れ募集	・学生募集活動は適正に行われているか	3.5	3.9	おおむね達成した。 学生募集活動は増やしたが定員確保にはつながらなかった。PR活動の評価を行い対策を考えたい。	定員に満たなかった原因を十分に精査し、これからの募集活動に生かしてもらって欲しい。学納金については検討して欲しい。
	・学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.4	3.5		
	・学納金は妥当なものとなっているか	3.3	3.8		
(8) 財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.5	3.8	達成した。 財務情報についてはホームページに掲載している。	概ね評価できる
	・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5	3.8		
	・財務について会計監査が適正に行われているか	3.5	4.0		
	・財務情報公開の体制整備はできているか	3.3	4.0		
(9) 法令等の 遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.7	4.0	達成した。 PCセキュリティの強化を行った。 自己評価項目についても検討したい。	概ね評価できる
	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.4	4.0		
	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5	3.8		
	・自己評価結果を公開しているか	3.7	4.0		
(10) 社会貢献 地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3.2	3.5	復職支援研修会やその他の研修会に実習室を提供している。ボランティア活動の奨励についてはカリキュラムに余裕がないため難しい。	「地域」に関する部分は現状から考慮し、なかなか厳しいものがあると思われる。
	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.1	3.2		
	・地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2.8	3.2		

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度、学校自己評価項目を変更したが、見直しが必要と考える。カリキュラムの見直し（内容、時間数）も必要と考える